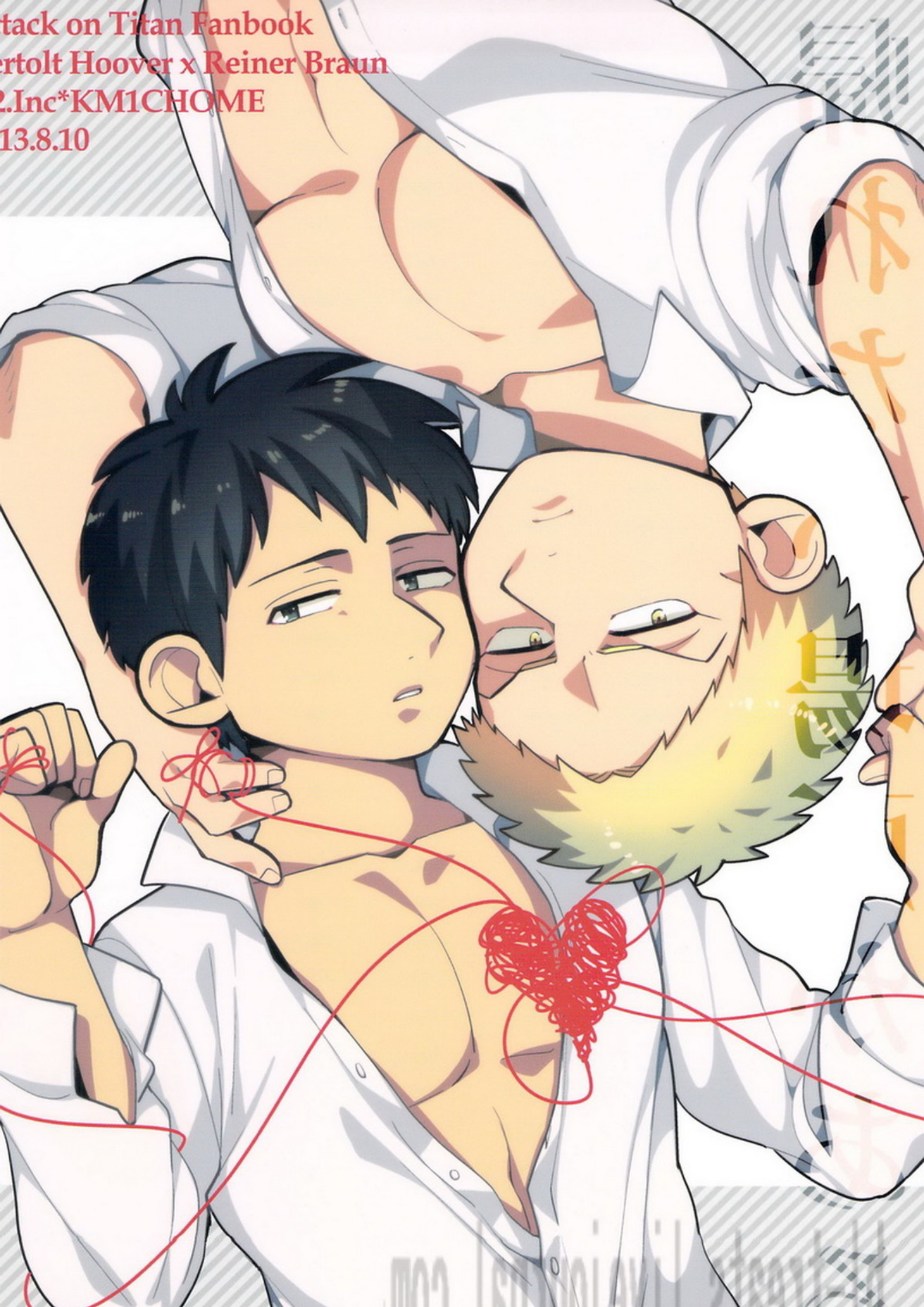


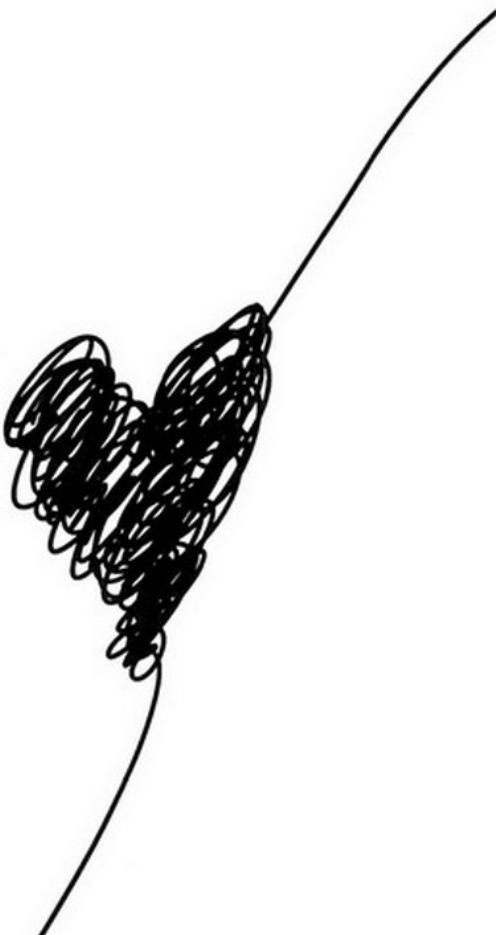


ぼくの癖を壊す場所

R18

Attack on Titan Fanbook
Ertolt Hoover x Reiner Braun
2.Inc*KM1CHOME
13.8.10





ぼくらの帰る場所。

したっぱ

健町一丁目

<http://km1chome.rdy.jp/>

合同誌はじまるよ～
どうぞお楽しみください。





▼Shitappa-Side

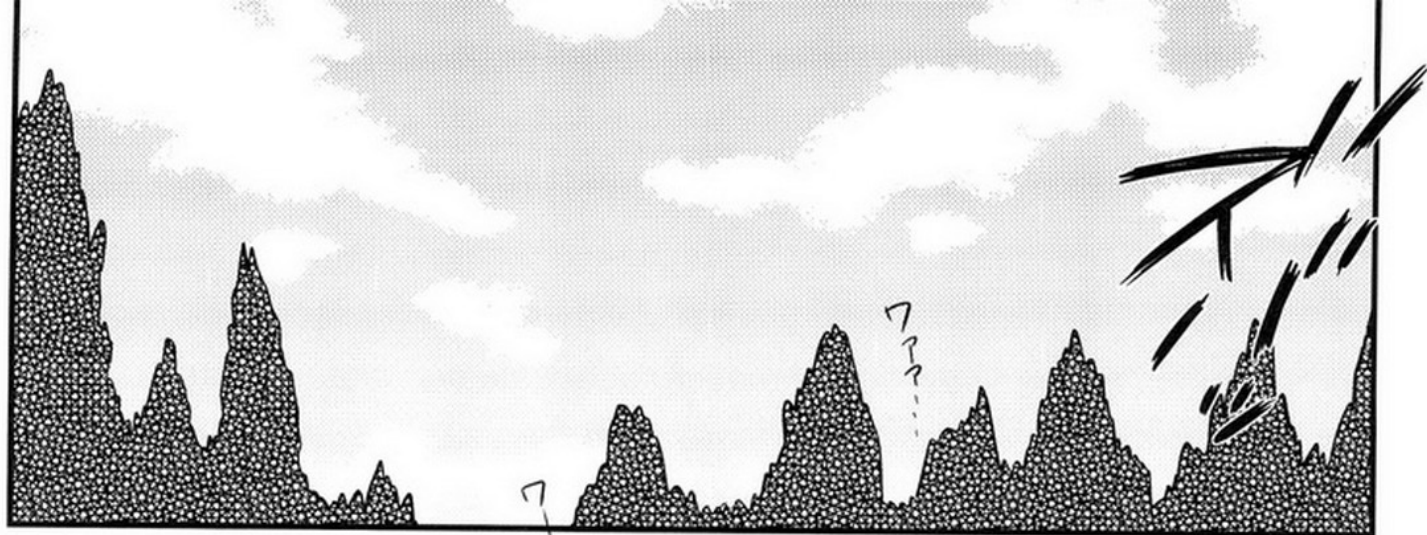
















たとえば
ユミルだば

能力的に見りゃ
あいつのほうが
クリスタより
上だなんて
すぐにわかる

それなのに奴が
クリスタよりも
下だったのは、
能力でなく
あいつの性格の
せいだ

エレンもだ…

あいつは格闘術以外
ジャンに勝るとい
うことはない
まあどっこいどっ
こいってとこだよな

教官がエレンを
押し上げたのは

ジャンよりエレンに
伸びしろがあると
判断したからだ

殺さなきゃ
ならねえと
思ったよ…

ただひとつの
目的へと至る

奴らを…
一匹残らず

怖ろしいほどの
向上心…

お前はあまり
前に出ないし…

それが教官から
消極的だと判断
されただけの話で、
お前より俺が勝って
いるということは

ない

お前と俺の本質は
そう変わらん
だから

結局最後に
俺達を分けたのは

兵士としての
わずかな感情の差…
たったそれだけなんだ

兵士と
しての…



さ
ゆ
っ



何言ってるん
だよ…？



…？

え？

…あ、



ああ
ライナーは…

よくわかってる
と思うよ…



ああ…

何だよ
ベルトルト…

そんなのは
当然だろ…？





昨日離れた
ばかりだっ
ていうのに…

妙に懐かし
いな…



簡単に入れ
ちまったな



…
…
…
…
ここに三年も
いたんだな…



え?



ライナー…
その包帯、まだ
してるの?



…は？



優しいし
可愛いし
俺のこと
…どう
思ってる
かなあ？

—クリスタっ
てさあ…



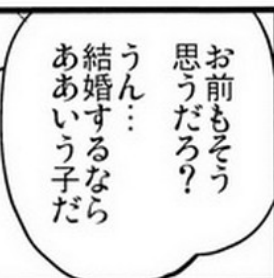
ああ…
これか

二日前にクリスタが
最後に取り替えてくれた
やつだよ…

けっこう
深かったな
みたいでな



クリスタと
結婚したい
な…



お前もそう
思うだろ？
うん…
結婚するなら
ああいう子だ



どうしたん
だよ…
ベルトルト

？

怖い顔して
…



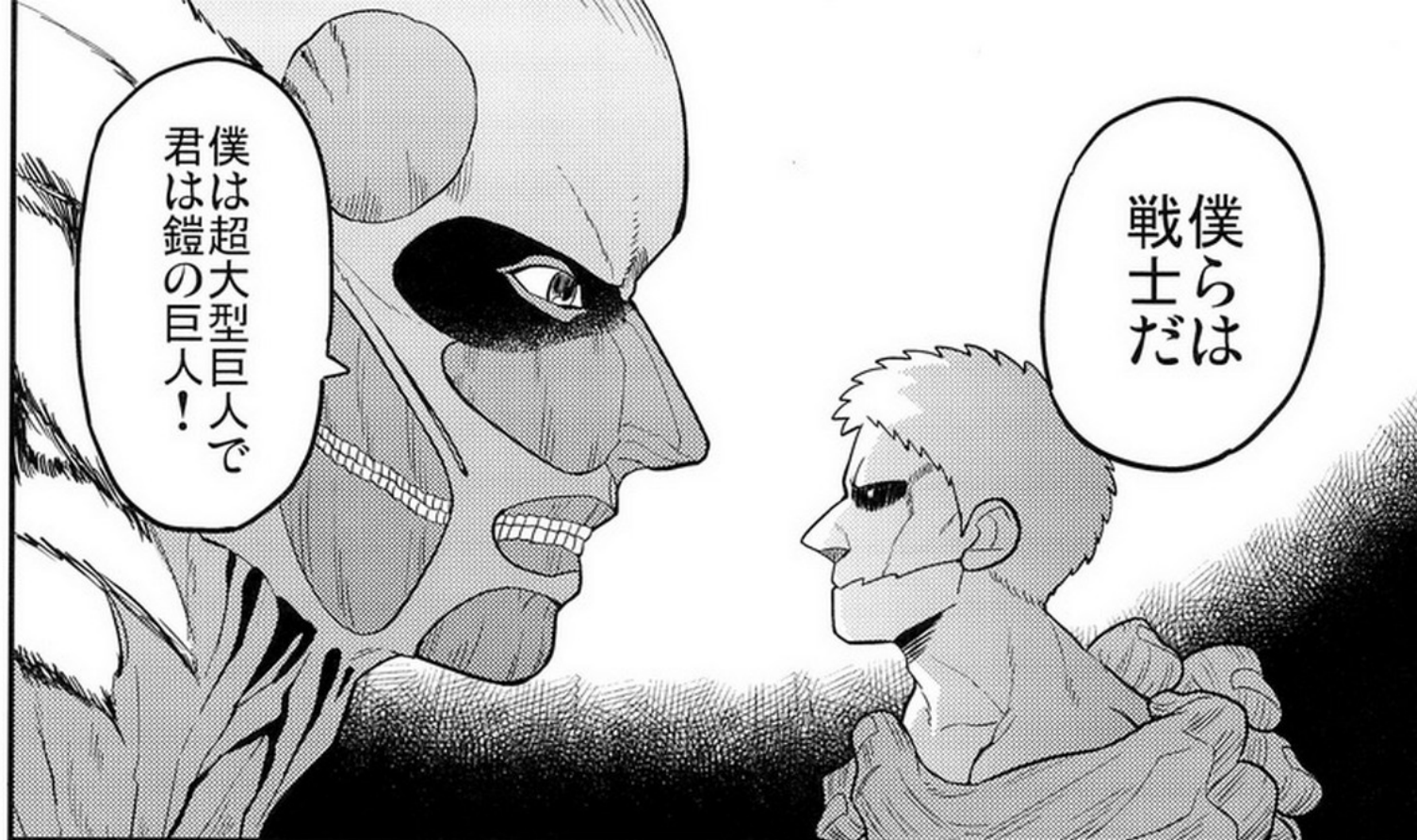
ベル…

さっきも
言ったよね？
ライナー



君が
クリスタと
…？

やめてくれよ
ライナー…



僕は超大型巨人で
君は鎧の巨人!

僕らは
戦士だ



そして帰るんだ
僕らの
故郷へ……!

僕らは
人類を滅ぼさ
なければならない!



僕が今この身で
証明しても
かまわない!

ライナー、君が
この三年のあいだに
戦士のあるべき姿を
忘れていたというの
なら



ベルトルト!





脅かしてる
つもりなら……

何考えてる!?!
こんなところで
しかも夜だぞ



はあ

はあ



僕には…君が
何かとても明るい
ものに希望を
持ちたがっている
ように見える



君は

クリスタを
救いの女神か何か
だと思ってるん
だろう?



——…
ライナーは……

クリスタと
一緒になり
たいのか

あの子にここから
自分を連れて逃げて
ほしいのか…

どっち
…!?



そっだよ
ね…

そっ

そのはず
だ…



違う

俺は…壁の中の
人間とは違う
救いに縋るような
ことはない！



…意味が
わからなかった
…



何か別の目的も
持てば…って
「例えば
ライナーに
勝つとか」
って…



…アニがさ
僕に言ったんだ



それが何だって
いうんだ…？

だって必要
ないじゃない
か？

兵士の意志
なんて…



僕には…
自分の意志がない
いつも君の後ろを
ついて回り
他人の顔色を伺って
目立つこともなく
生きている

それが「兵士」としての
だベルトルト・フリーバー



君は当然僕よりも
上に決まっているのに
君はまるでそれが
不満みたいなことを
言ってる……

どうだっていいよ
「君に勝つ」なんて……
技の優劣を競うのは
僕らからしてみれば
さして意味のないことだ



優しすぎるよ
ライナーも
アニも

僕らが「なれ」ば
結局ほとんどの人は
死んでしまうんだ
から……

だって、どんなに力を
磨いたところで



世界は僕らに
優しくないので

そんな世界の中に
救いを見出そうと
するなんて

僕には
わからないよ
……







僕らもう子ども
じゃないんだ

ああライナー
そういうわけには
いかないよ…

それを教えてくれた
のはライナーだよ…



いやだ

嫌だ…
ここは嫌だ

ここでしたくない
やめてくれ
ベルトルト!



つっあっ

ゴクン

ゴクン



ここに置いてきて
しまったものを
取り戻さなきゃ



僕…君のこと
すごく愛してるから
君と帰るためなら
何でもするって
決めてるから…

ゴクン

ごめんね…



ずいぶん
早いね、ライナー



こんな傷、君なら
治してしまえる
はずだよ

さあ
ライナー

こんな
小さな傷の
ひとつくらい
……

君は強い戦士だ
いつだって僕の
憧れだった

今は僕だけ見て……
僕だけ見ていれば……
きつと悲しくないから
君だけに悲しい
思いはさせない……
ライナー、お願い
だよ……



一緒に故郷へ
帰ろう
ライナー

思い出に
さよならを
言って

治して見せて

僕に……





あめ



わかってるんだ
君はひとりにな
りたくないん
だよね？





風が吹いて
いる...



ベルトルト...
お前、さっき
何を言ったん
だっけ?



俺のこと愛してる
って...ああ、そんな
俺だってお前を
愛してるよ



子どもの頃から
ずっとお前を
感じて生きて
きたんだ

ベルトルトの空気を
感じて生きてきた



いつからお前の
ささやかな空気
さえわからなく
なっちゃまったん
だろう?
風が吹かないと
わからないくらい
に...



俺が甘いから

帰れない場所を
またひとつ増やして
しまった...

ライナー

予定通り
明日決行するよ



調査兵団は
不在で街には
駐屯兵团だけだ

立体機動装置を
駆使していても
誰も疑問を持た
ないし…

トロスト区の
襲撃想定訓練…
実戦になるなんて
誰も思っちゃいない
だろうね…

ああ

上手いくくと
思うよ

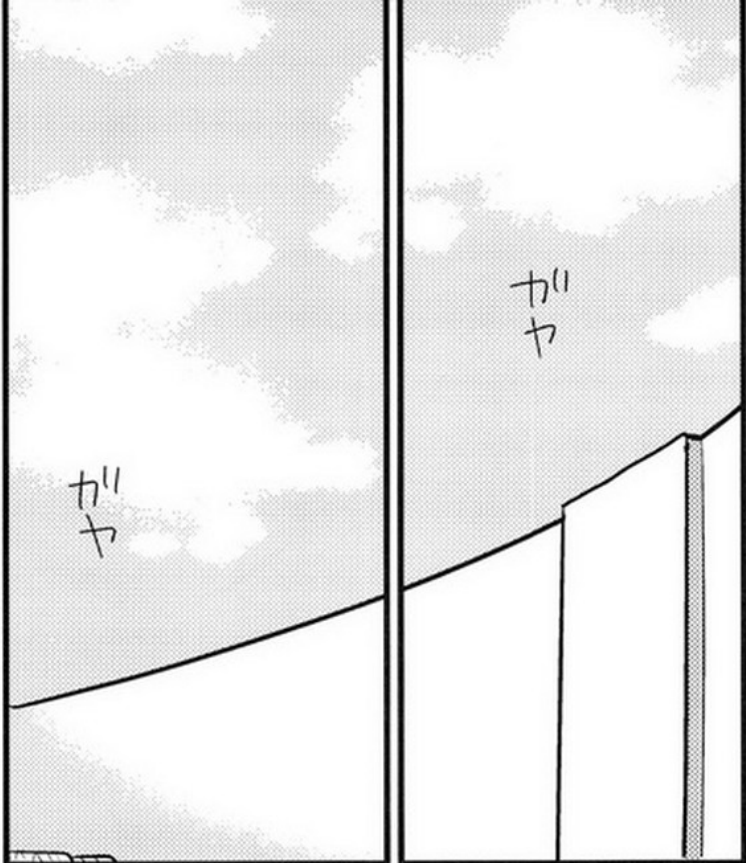
ライナー

ああ…

ウォール・ローゼを
突破すればあとは
憲兵团に入って
内側から叩くだけ

ああ

また少し…
これで近づけるね



え？

お前…何で
泣いてんの？

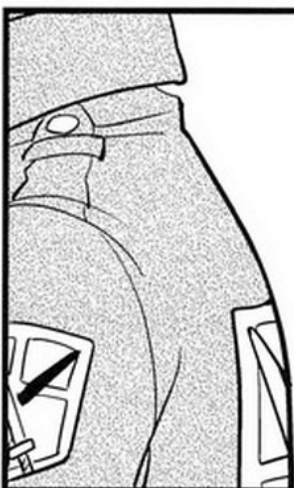


……
……
……
……
……
……
……
……
……
……

びっくり
させんなよ



いや……



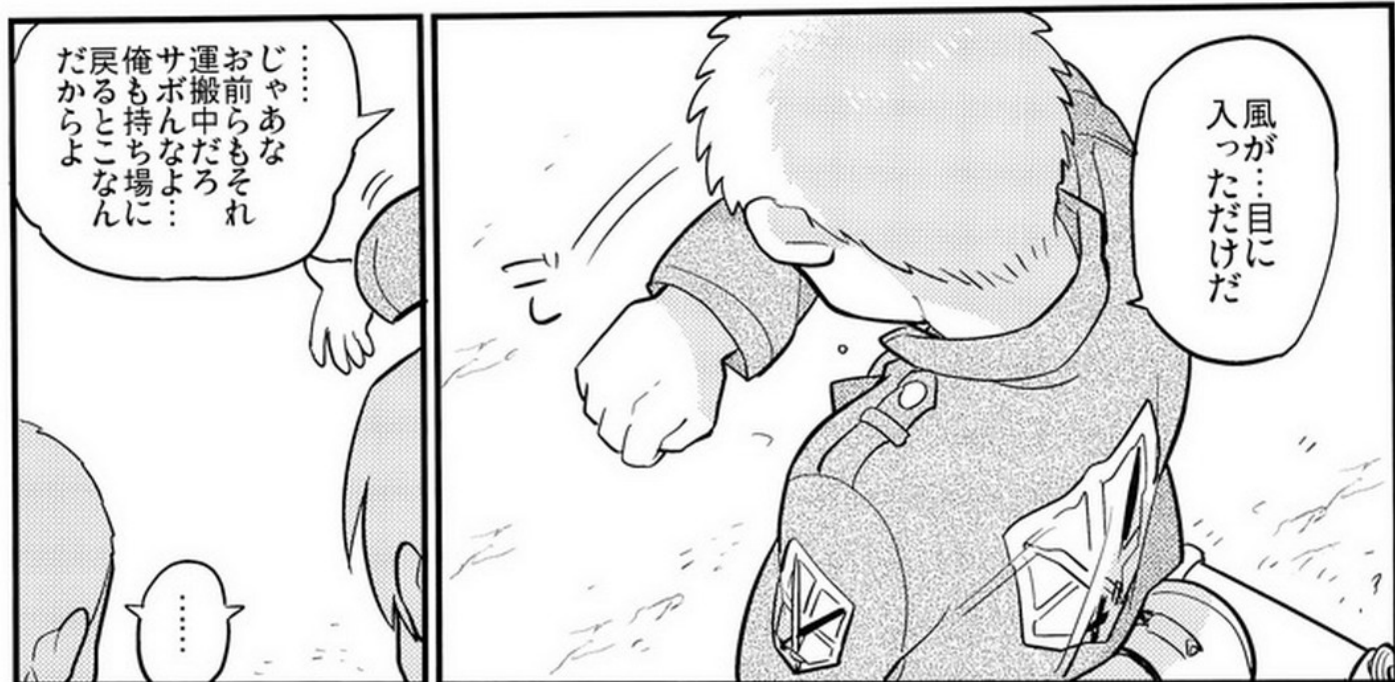
ああ……
かもな……

エッ



おいコニー
やめろよ
気色悪い

おっ!?
さてはお前
ベルトルトが
恋しいか!?
珍しく一緒じゃ
ねえもんな





ベルトルド

もしも俺がお前の空気を
感じられなくなってしまうたら
俺はどうなってしまっ
ろう…？

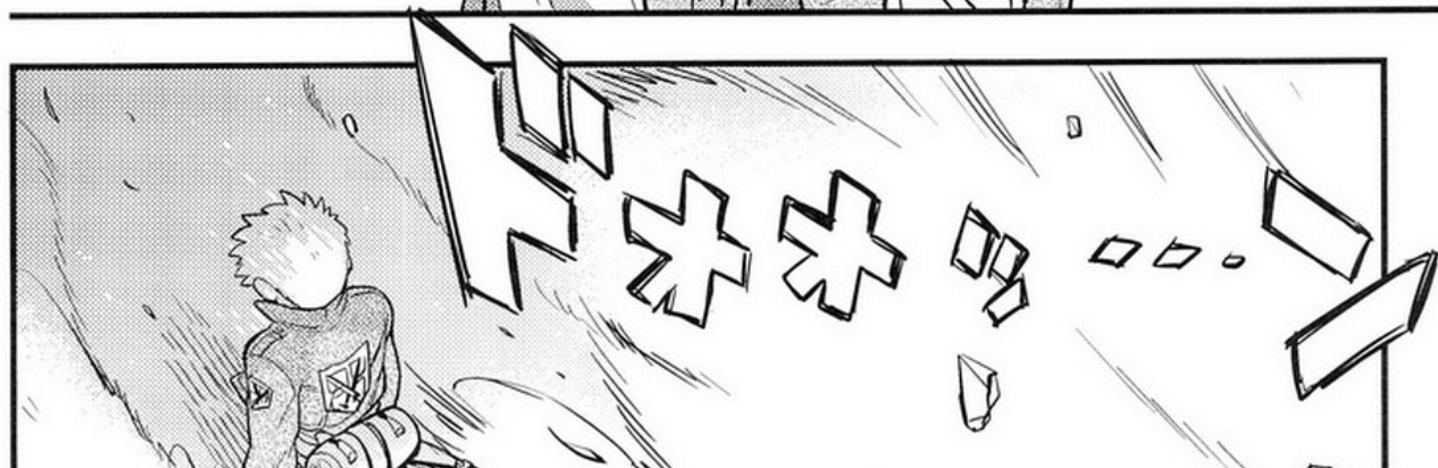


今でさえ
あっちへふらふら
こっちへふらふら

風に吹かれて
流されて…



誰のため
泣いてるん
だろ…？





今はただ
無性にお前に
逢いたいよ

ベルトルト

きつと
大事なものを
お前のところ
置いてきたから



行くよ
ライナー

お前もだよ
鏡見ろ
緊張してん
のか？

アంతタほど
酷かないよ……
ベルトルトは
ちゃんと
帰ってくる
だろうね

ああ
大丈夫
だは

どうかした？
泣きそうな
顔してるよ

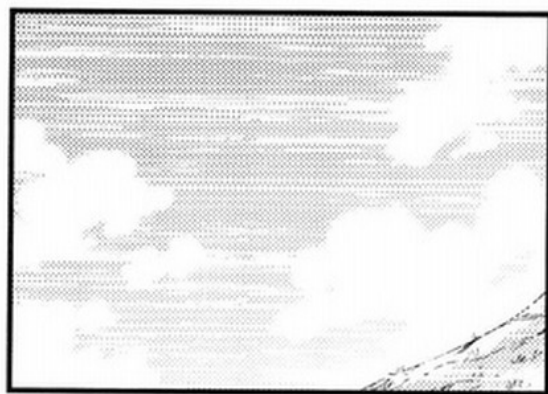
ベルトルトは、

立体機動の使い方
上手いんだよ
あいつは
巨人の討伐試験
俺より上手かった
かもな
食われたりしねえよ

行こうぜ
巨人をぶっ殺しに

……
そう











ははっ

…だよな



…いくよ、ライナー

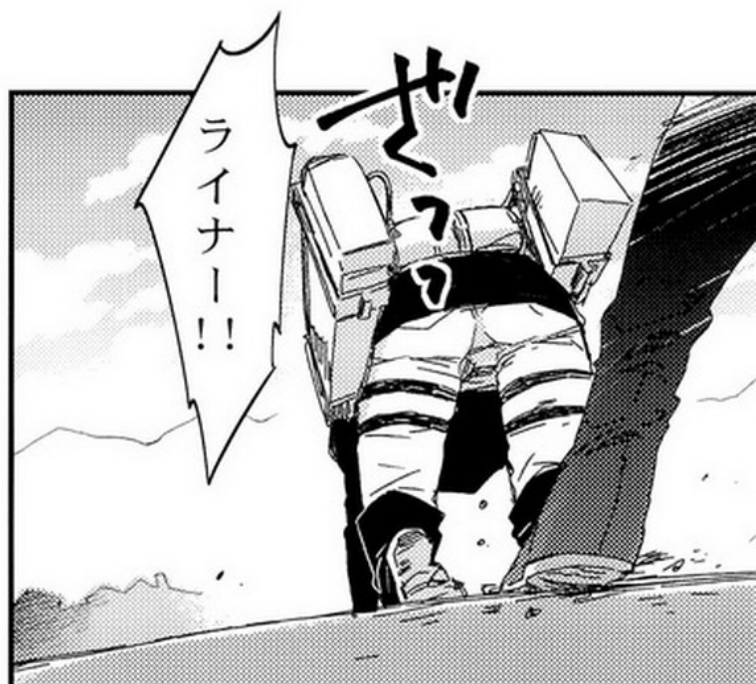
ああ













どう…

あ

あ

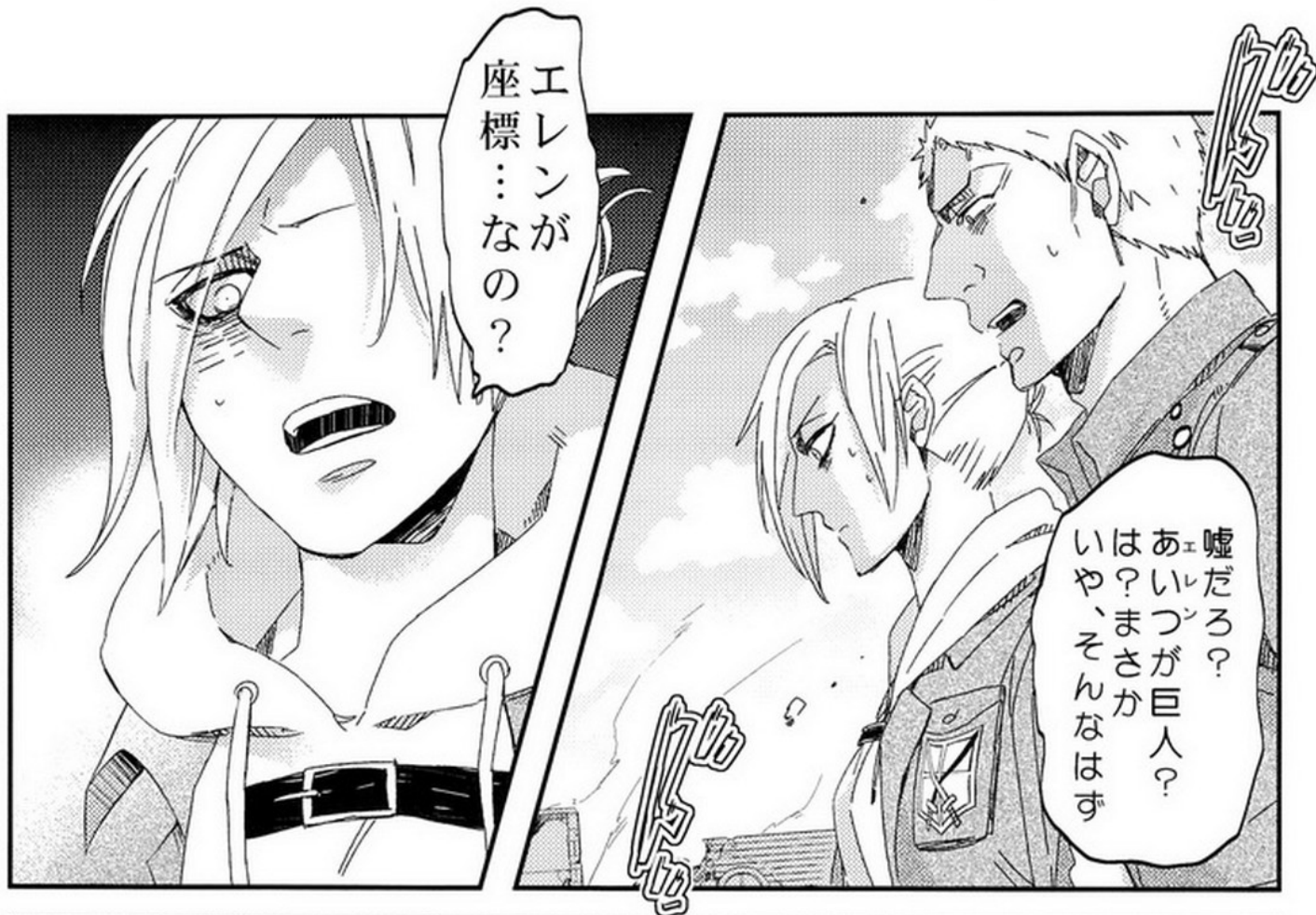
な
っ
て
ん
だ



あ

あ

こ
れ
は
…





大丈夫だよ



ライナー

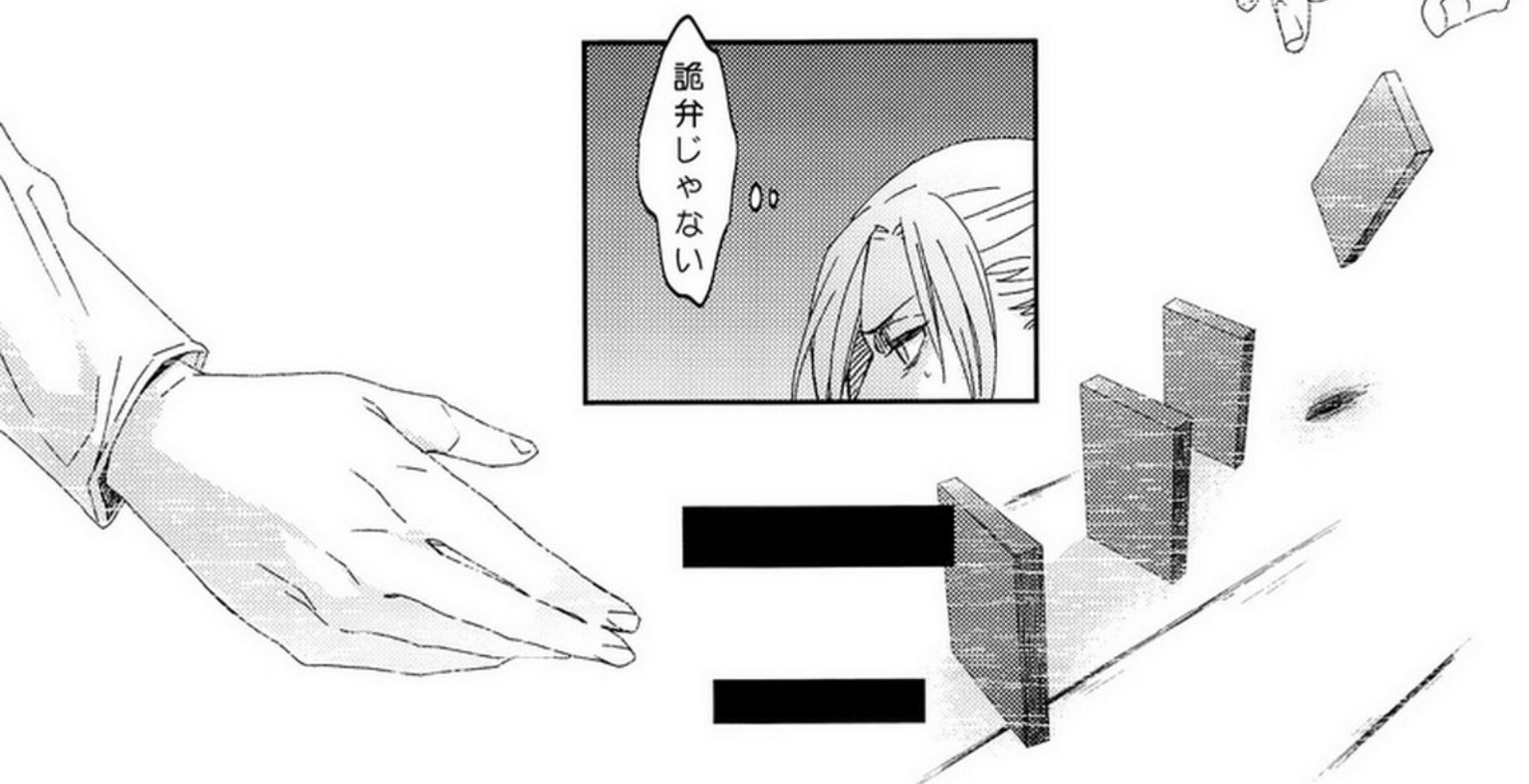
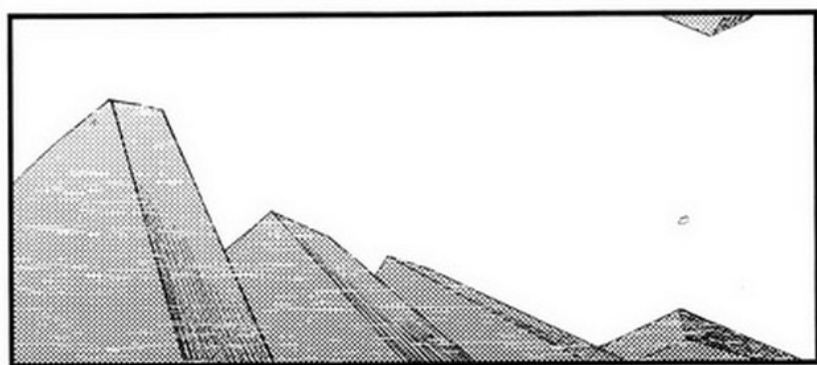


以上
使命を全うし
『戦死』だ

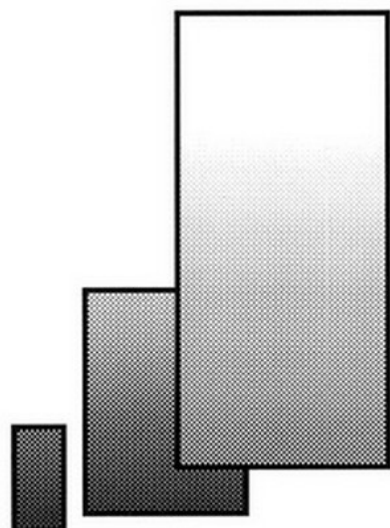
トーマス・ワグナー
ナック・テイアス
ミリウス・ゼルムスキー
ミーナ・カロライナ



戦って、死んだ

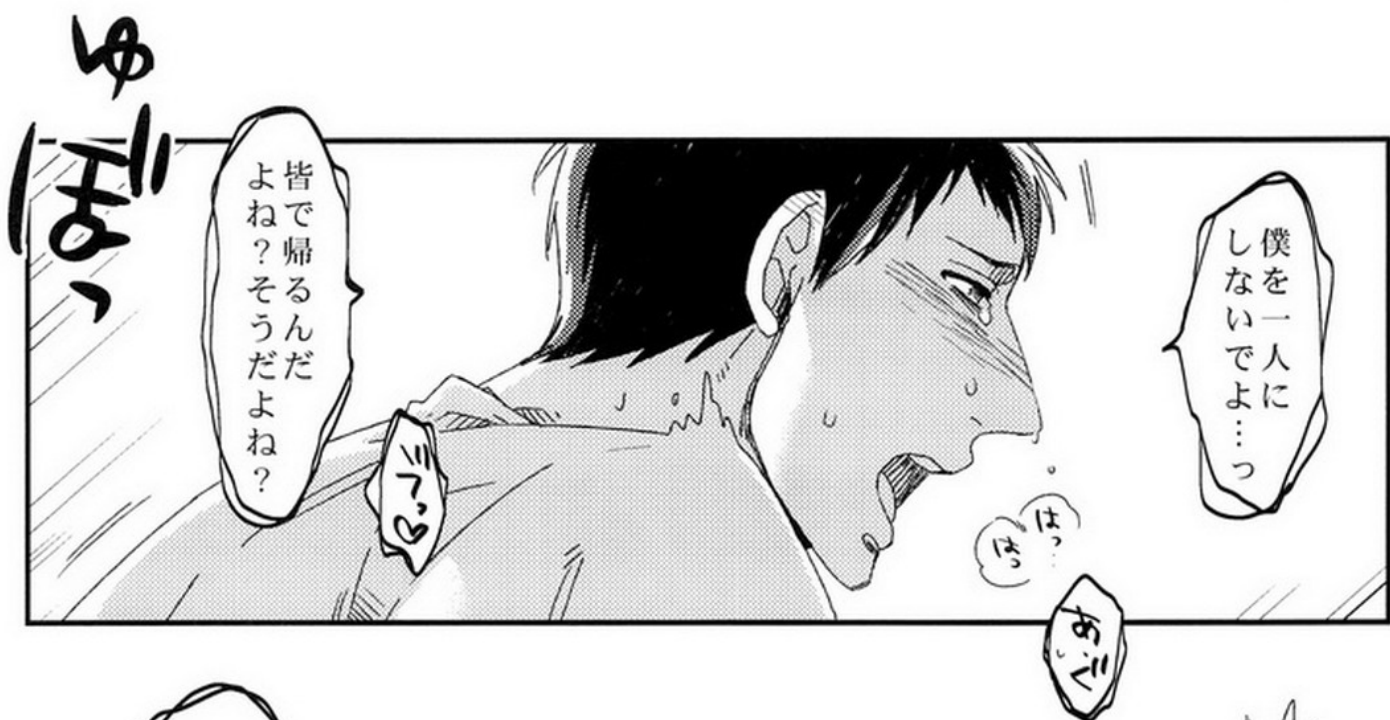
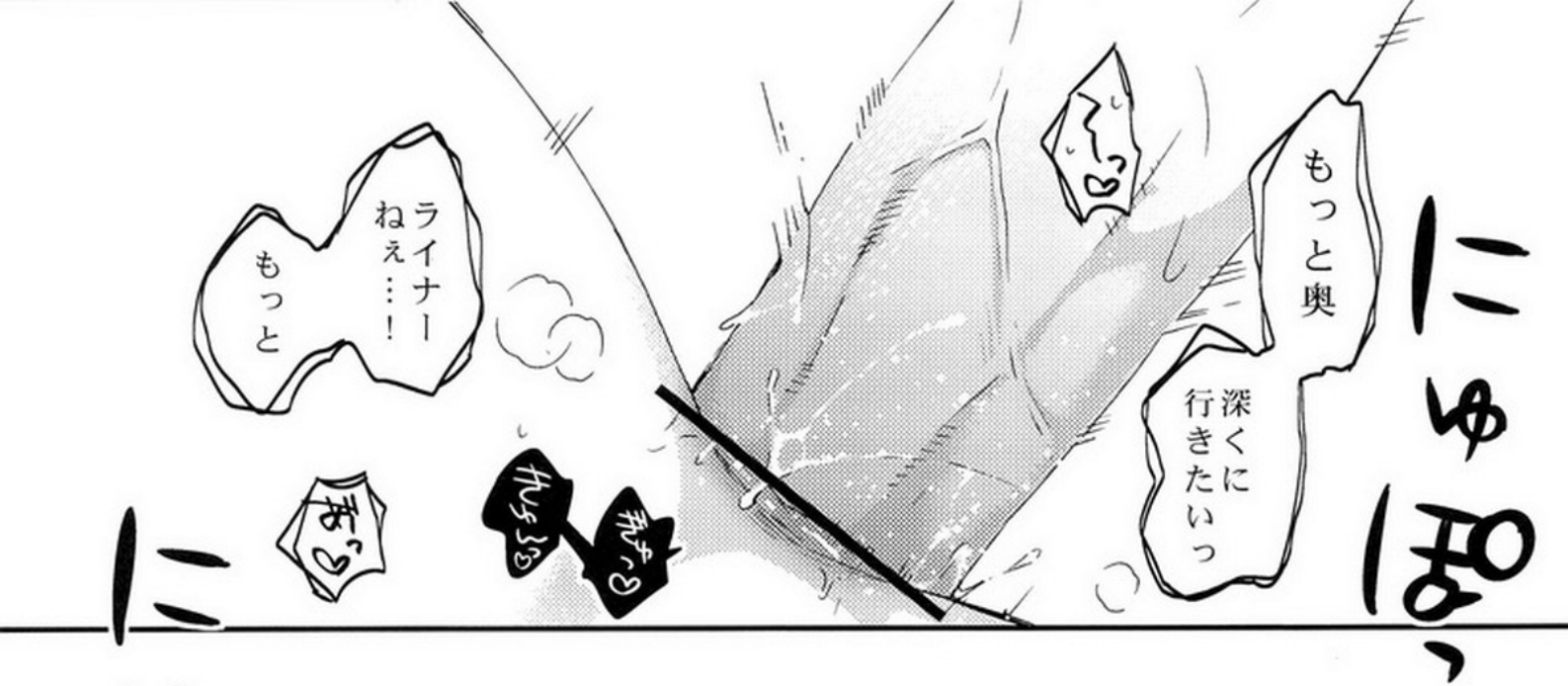














絶対に僕らを
置いていかないで

人間の事じゃなくて
僕を見ててよ



ベル...トル...
は...?

何...言っ
た...? お前...

ジュン

ジュン

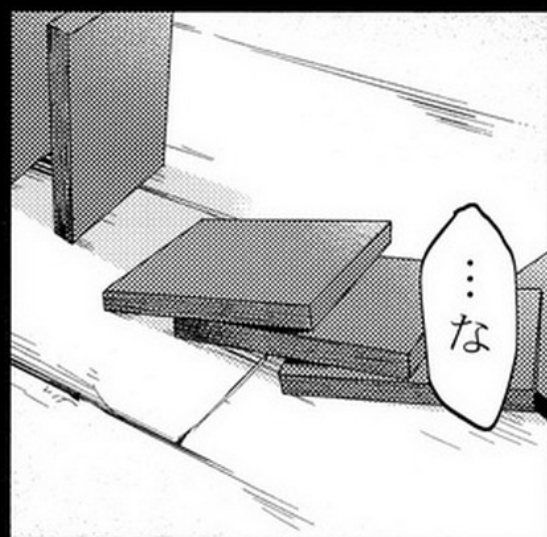
ジュン



僕を

一人にしないで

ジュン







要領が
悪すぎる

私の手が一番
小さいし、一番
効率的



えっと…それは
つまり、手伝って
くれるって事？

…別に
いいけど

はあ？

何だそりゃ
素直に一緒
遊ばないで
言えばいい
だろ



別にそんなの
どうだっていい

おい！

何だその
言い方は

まあまあ

うるさい…

あ！？

ああ
そうか





一緒に並べてた
はずなのにな

ごめんな
ベルトルト：ずっと
一人にしちまって
たんだな



うん だから
僕が壊してあげるよ
壁も、君も、全部



でも、俺はさ
ダメなんだよ

一回並べちまったら
もう壊せねえんだ

貧乏性：
だからよ

僕がこのまま
ライナーになれれば
いいのに

そしたら何もかも
僕がやっつてあげる
事ができるのに

ああ

もどかしい
こんな深くに
入ってるのに

スキマ一つない位
一つになってるのに
どうして?


何で?
どうすればいい?

どうやったら
一つでいられるの

ねえライナー
気持ちいい?


僕もう出ちゃうよ
ライナーの中に
出してもいい?

俺ッ…も…



では今!!ここにいる
者を新たな
調査兵团として
迎え入れる!!

何度だって
僕が代わりに壊して
あげるから



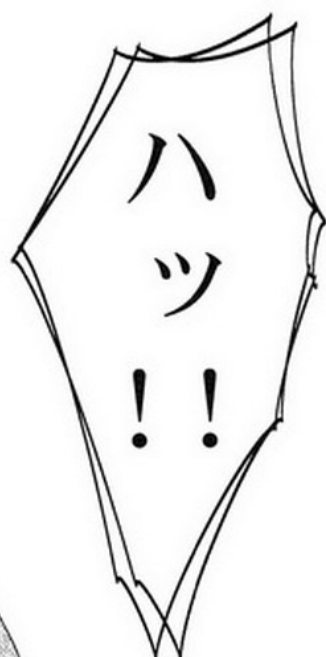
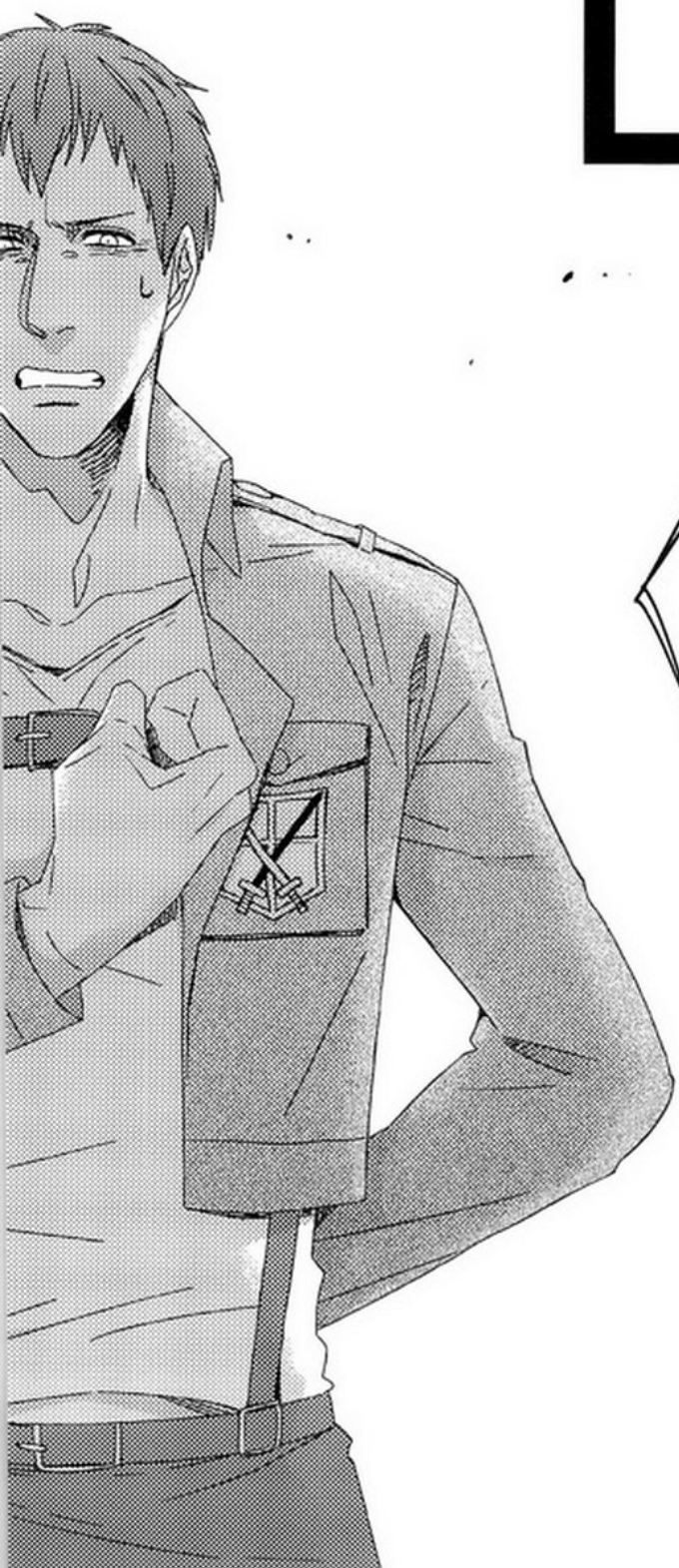
これが本物の
敬礼だ!!

君が躊躇うのなら
何度でも僕が。

心臓を捧げよ!!



そして何度だつて
やり直そう
君と一緒に





C2(ちゃこ)

C2.Inc

<http://ecco.ne.jp>

ベルトルトさんの抜け毛最前線が
心配過ぎて夜も眠れません。



ふたりの帰る場所。

2013.8.10

C2(Chaco):C2.Inc

<http://ecco.ne.jp>

したっぱ：健町一丁目

<http://km1chome.rdy.jp/>

印刷：（有）スズトウシャドウ印刷

Special Thanks

若飛チャック

摩耶薫子

この同人誌は個人による二次創作物であり
著作権を有する各企業様とは一切関係ありません
複製・転売・オークション出品等はお止め下さい
この本の一部、または全てのWEB媒体への
アップロード行為等の一切を禁止しております

